

家畜のふん尿を適正に処理することで、肥料や発電時のエネルギー(バイオマスエネルギー)に有効活用できる。適正に処理をしないと河川の水質汚濁や地下水の汚染、家畜の健康への悪影響などさまざまな問題が発生する。

家畜ふん尿の適正処理



森林の適正管理

間伐が十分にされていない森林や伐採した後に放置されたままの木を適正に管理することで、地球温暖化の要因であるCO<sub>2</sub>の吸収源を保全するほか、地中に根をしっかりと張ることで、大雨の時に土砂災害を起こしにくくしてくれる。

**エネルギー資源の有効活用**  
本市はCO<sub>2</sub>の排出を抑える取り組みとして、本市が持つエネルギー資源を最大限に活用することを目指しています。本市には多くの森林資源が存在するものの、間伐が十分にされなかったり、伐採された木が放置されていたりするなど、森林の適正管理が課題となっています。森林はCO<sub>2</sub>を吸収するとともに、保水能力で土砂災害の危険性を減らすこともできるため、適正な管理が必要です。また、生乳生産量本州一を誇る本市では、家畜のふん尿が多く発生しています。これが適正に処理されないと、雨で河川に流れ出したり、地下に浸透したりするなど、地域の環境に悪影響を及ぼします。家畜のふん尿を適正に処理することで、肥料にしたり、CO<sub>2</sub>を抑えた発電方法のエネルギーとして有効活用したりすることができま

このように、地域で消費する電力を地域のエネルギー資源から生産する地産地消は、地域のさまざまな問題を解決でき、併せて地域外からの電気などの購入に使っていた資金を地域内で循環させることもできます。市ではエネルギーと経済の両方を、地域で循環させる仕組みづくりを推進していきます。

**エネルギー資源の有効活用**



本市のCO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ宣言は、気候変動に関する国際連合枠組条約第25回締約国会議(スペイン)でも紹介された

未来の私たちのために  
**このまちが目指すこと**

気温上昇や降水量の変化など、市への影響が懸念されている気候変動。それに対応するため、市の取り組みや目指していることを紹介します。

**気候変動への取り組み**

本市は昨年12月、地球温暖化などの地球規模の課題を地域レベルで考え、課題の理解や意識を深めるため、2050年までに「CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ」を目指すことを宣言しました。これは、生活の中で発生(排出)するCO<sub>2</sub>の量と、森林の吸収などで除去する量を同じにする取り組みです。また、長期的な気候変動に対応するため、今年3月に「市気候変動適応計画」を策定しました。この計画では、本市の気候の変化、農業や畜産、水環境への影響など、気候変動に伴う課題やその対応を示しています。

これら気候変動の影響への取り組みを推進するため、今年4月、市の組織に「気候変動対策局」を新設しました。また、地域の気候変動に関する

**市町村で全国初!**  
地域の皆さんと共に  
**市気候変動適応センター**

今年4月、市町村レベルでは全国初の地域気候変動適応センターとなる「市気候変動適応センター」を設置しました。センターでは、地球温暖化による気温の上昇が降水量の増減などの気候に変化を与え、市内にどのような影響を及ぼすのか不安視しています。変化する気候に備える取り組みを検討するため、市の主要な産業である農業や観光、教育分野を中心に、関係者会議や市民へのヒアリングを実施します。

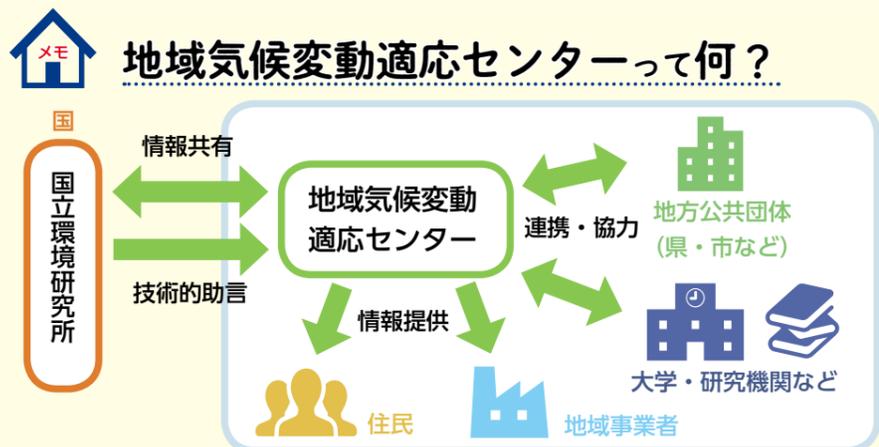
地球温暖化は今後も継続・深刻化することが予測されていて、長期的にその影響が表れると考えられています。その影響に対応するには、たくさんの人、さまざまな機関の協力が不可欠です。センターは国や県、大学や研究機関、市内事業者、地域住民と連携して、取り組みを進めていきます。また、より市民に近く、より地域に密着した活動を行うため、気候変動の影響の実態や既に市民の皆さんが取り組んでいることを調査する予定です。協力をお願いします。

情報収集や分析を行う拠点として、本市に市町村レベルでは全国初となる「市気候変動適応センター」を設置しました。

本市では他にも、市役所庁舎や学校の校舎の屋根への太陽光発電システムの設置や鳥野目浄水場の小水力発電システムの導入でCO<sub>2</sub>の排出を抑制したり、使用済み天ぷら油を回収してトラックの燃料として再利用したりするなど、さまざまな取り組みを行っています。

鳥野目浄水場に設置している小水力発電システム

市役所庁舎や学校の校舎の屋根に設置している太陽光発電システム



地域気候変動適応センターは、平成30年6月に制定された気候変動適応法に基づき、地域の気候変動適応に関する情報の収集、整理・分析、提供、技術的助言を行う拠点です。地域に近い重要拠点として、地域に密着した活動を行います。

**もしも…このまま何もしなかったら? (栃木県の場合)**

年平均気温が100年で約4℃上昇する。

滝のように降る雨\*の発生回数が100年で約2倍になる。  
\*1時間の降水量が50mm以上の雨。

猛暑日\*が100年で年間約30日増加する。  
\*最高気温が35℃以上の日。